



2月の採用薬品

d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠 2mg 「N I G」

抗ヒスタミン剤

日医工岐阜工場株式会社



【効】じん麻疹、血管運動性浮腫、枯草熱、皮膚疾患に伴う掻痒（湿疹・皮膚炎、皮膚掻痒症、蕁麻疹）、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽

【用】d-クロルフェニラミンマレイン酸塩として、通常成人1回2mgを1日1～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照

※同一成分のd-カルフエニラミンマレイン酸塩錠 2mg 「武田パ」が販売停止のため

モニラック・シロップ 6.5%

生理的腸管機能改善・高アンモニア血症用剤

中外製薬



【効】【用】

＜高アンモニア血症に伴う症候の改善及び産婦人科術後の排ガス・排便の促進＞：

通常、成人1日量30～60mLを高アンモニア血症の場合3回、産婦人科術後の排ガス・排便の目的には朝夕2回に分けて経口投与する。

年齢、症状により適宜増減する。

＜小児における便秘の改善＞：

小児便秘症の場合、通常1日0.5～2mL/kgを3回に分けて経口投与する。

投与量は便性状により適宜増減する。

【副】添付文書参照

※同一成分のラグノスNF経口ゼリーが出荷調整にて入手困難なため

はしか風しん混合生ワクチン「第一三共」

乾燥弱毒生麻疹風しん混合ワクチン

第一三共



【効】本剤は、麻疹及び風しんの予防に使用する。

【用】本剤を添付の溶剤（日本薬局方注射用水）0.7mLで溶解し、通常、その0.5mLを1回皮下に注射する。

【副】添付文書参照

2月の採用薬品（限定採用薬品）

レキサルティOD錠 1mg

抗精神病剤

大塚製薬株式会社



【効】【用】

＜統合失調症＞

通常、成人にはブレクスピプラゾールとして1日1回1mgから投与を開始した後、4日以上の間隔をあけて増量し、1日1回2mgを経口投与する。

＜うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限り）＞

通常、成人にはブレクスピプラゾールとして1日1回1mgを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、1日量2mgに増量することができる。

＜アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動＞

通常、成人にはブレクスピプラゾールとして1日1回0.5mgから投与を開始した後、1週間以上の間隔をあけて増量し、1日1回1mgを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、1日1回2mgに増量することができるが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。

【副】添付文書参照

ゾラデックスLA 10.8mgデポ

LH-RHアゴニスト

アストラゼネカ



【効】○前立腺癌

○閉経前乳癌

【用】通常、成人には本剤1筒（ゴセレリンとして10.8mg含有）を前腹部に12～13週ごとに1回皮下投与する。

【副】添付文書参照

名称変更薬品

リン酸ジヒドロコデイン散 1%「ホエイ」 →
ジヒドロコデインリン酸塩散 1%「ホエイ」

